

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！



監督：オオタ ヴィン
「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

可児「夢みる小学校」上映会＋交流会 主催：むすびば
9月23日（土）可児市文化創造センター ala 映像シアター



小学生がテラスを建設中!

「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で開催された映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



小学生が作ったよ!



ナレーション
吉岡秀隆



エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ



映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



堀 真一郎
(きのくに子どもの村学園学長)



茂木 健一郎
(脳科学者)



尾木 直樹
(教育評論家)



西郷 孝彦
(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか? お申し込みは、まほろばスタジオ▶



可児「夢みる小学校」上映会+交流会 (上映時間 91分 上映後、感想シェア会あり)

日程: 2023年9月23日(土)

① 14:00 - 16:00 (13:30 開場)

② 18:00 - 20:00 (17:30 開場)

会場: 可児市文化創造センター ala 映像シアター

料金: 一般 500円 (高校生以下 無料*要申込)

*当日精算 *キャンセルする場合はお申し出ください。

お申込はこちら▶



主催: むすびば

後援: 可児市、可児市教育委員会

お問い合わせ: お結びの森 奥村 (090-6462-9506)

Email: kaniyumemirusyougakkou@gmail.com